

○死 亡

- 外務書記生菅沼操ハ七月五日死亡セリ
- 外務書記生菅沼操在官中任所浦潮斯德ニ於テ死亡ニ付判任官俸給令第十三條ニ依リ月俸三箇月分金百三十五圓竝在外公館費用條例第十六條ニ依リ在勤俸年額十分ノ三金五百四十圓計六百七十五圓ヲ七月五日其遺族ニ給與セリ
- 外務省巡查伊藤義助ハ七月九日死去セリ
- 外務省巡查伊藤義助在官中郷里ニ於テ死亡セシニ付弔祭料給與令第三條ニ依リ金百五十八圓二十八錢ヲ七月二十日其遺族ニ給與セリ

○發 著

- 赤塚總領事(奉天)ハ七月十五日歸任セリ
- 副領事吉原大藏(奉天)ハ同上
- 副領事山崎誠一郎(齊々哈爾)ハ七月二十三日歸任セリ
- 大使館三等書記官石射猪太郎(米國)ハ七月二十三日著任セリ
- 大使館一等書記官矢田部保吉(伊國)ハ七月二十一日著任セリ

- 外交官補深田榮次郎(支那)ハ七月二十七日歸任セリ
- 領事今井忠直(ケープタウン)ハ七月十七日前任地「バナマ」出發赴任セリ
- 外交官補張間利春(佛國)ハ七月三十日前任地奉天出發赴任セリ
- 公使館一等書記官有田八郎(暹羅國)ハ七月二十八日著任セリ
- 總領事太田喜平(廣東)ハ七月二十七日歸任セリ
- 公使館一等書記官子爵武者小路公共白耳義國ハ十月十日東京出發赴任ノ筈

- 領事官補龜井貫一郎(紐育)ハ八月七日横濱出發赴任セリ
- 領事官補丸田篤孝(哈爾濱)ハ八月十五日東京出發赴任ノ筈
- 大使館一等書記官鈴木要太郎(米國)ハ八月二十四日東京出發赴任ノ筈
- 領事官補尾見昭奉天ハ八月二十三日東京出發赴任ノ筈
- 國際勞働理事會ニ於ケル帝國政府代表者隨員內務書記官次田大三郎ハ八月六日東京出發赴任セリ
- 國際勞働理事會ニ於ケル帝國政府代表者隨員鑛業監督官兼工場監督官北原安衛ハ同上
- 國際勞働理事會ニ於ケル帝國政府代表者隨員內務事務官兼內務書記官川西實三ハ八月二日東京出發愛知大阪京都兵庫及福岡へ出張セリ

- 外務省囑託高柳松太郎ハ佛國及獨逸國ニ向テ八月九日神戸ヲ出發セリ
- 外務通譯生松村雄藏(掏鹿)ハ七月三十一日著任セリ
- 外務書記生清野元吉ハ七月二十一日伊國ニ到著セリ
- 外務書記生石黒璋(掏鹿)ハ七月二十八日任地出發歸朝セリ
- 外務書記生朝日五十四(桑港)ハ七月二十三日横濱出發赴任セリ
- 外務書記生大野道造(倫敦)ハ八月二十日横濱出發赴任ノ筈
- 外務書記生齋藤三郎(治齊々哈爾)ハ八月十九日東京出發赴任ノ筈
- 外務書記生出納功(瑞典國)ハ八月五日東京出發赴任セリ
- 外務書記生竹内駒治(バタビヤ)ハ七月三十一日前任地「オタリ」ヨリ歸朝シ八月十五日東京出發赴任ノ筈
- 外務書記生野元三子(雄濟南)ハ八月十四日東京出發赴任セリ
- 外務書記生岡田保之(重慶)ハ八月二十五日東京出發赴任ノ筈
- 外務書記生湯谷勝俊(上海)ハ八月六日東京出發赴任セリ
- 外務書記生市川信也(新嘉坡)ハ八月十日東京出發赴任セリ
- 外務書記生尾上弘信(マニラ)ハ七月十七日歸朝セリ
- 外務書記生芝崎路可(新嘉坡)ハ七月十八日任地出發同二十九日歸朝セリ
- 外務省警部原田市二(長沙)ハ七月十二日著任セリ

- 外務省警部篠本重吉(福州)ハ八月八日東京出發赴任セリ
- 外務省警部羽生央局子街ハ七月二十四日歸朝セリ
- 外務省巡查山北政一(天津)ハ七月十日任地出發同十九日歸朝セリ
- 外務省巡查濱谷虎次郎(琿春)ハ六月二十八日著任セリ
- 外務省巡查竹中武次郎(吉林)ハ七月二十五日著任セリ
- 外務省巡查山越貞雄(哈爾濱)ハ七月二十三日任地出發同三十日歸朝セリ
- 外務省巡查杉本鶴太郎(哈爾濱)ハ同上
- 外務省巡查三上祝作(局子街)ハ七月二十二日任地出發同三十一日歸朝セリ
- 外務省巡查打它勝雄(齊々哈爾)ハ七月十四日任地出發同二十一日歸朝セリ
- 外務省巡查中谷良作(漢口)ハ七月二十八日任地廈門出發赴任セリ
- 外務省巡查増田繁雄(廈門)ハ七月二十七日任地出發八月三日賜暇歸朝セリ
- 外務省巡查大森正行(濟南)ハ八月一日前任地吉林出發赴任セリ
- 外務省巡查高野公爾(吉林)ハ七月二十九日著任セリ
- 外務省巡查加藤佐吉(南京)ハ八月十五日東京出發赴任ノ筈

○ 法令

● 領事官ノ徴收スル手数料及出張費用ニ關スル規程ヲ外務省令第五號ヲ以